

# 2015年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

## 学科試験 問題

(研究留学生用)

## 日 本 語

注意 ☆ 試験時間は120分

☆ 答えは全て解答用紙に記入すること。

☆ 問題はA (初級)、B (中級)、C (上級) の三つあります。

# 問題

# A

Elementary Level

I \_\_\_\_\_ に <sup>はい</sup> 入る <sup>いち</sup> 一ばん てきとうな ものを A~Dの <sup>なか</sup> 中から <sup>ひと</sup> 一つ えらび  
なさい。

(例) わたしは <sup>らい</sup> らいねん <sup>にほん</sup> 日本 \_\_\_\_\_ いきます。

A が B へ C を D で

- 1 きょねん <sup>こうこう</sup> 高校 \_\_\_\_\_ そつぎょうしました。  
A を B に C から D で
- 2 雨 <sup>あめ</sup> が \_\_\_\_\_ まで、ここに いましよう。  
A あげる B おわる C とまる D やむ
- 3 いま <sup>ほん</sup> 本を <sup>よ</sup> 読んでいますから、<sup>でんき</sup> 電気を \_\_\_\_\_ ください。  
A きえないで B きえなくて C けさないで D けさなくて
- 4 この ケーキは、 \_\_\_\_\_ <sup>た</sup> 食べやすいです。  
A にかくて B ぬるくて C ひくくて D やわらかくて
- 5 <sup>ひとり</sup> 一人では <sup>できな</sup> できなかったので、<sup>とも</sup> 友だちに てつだって \_\_\_\_\_。  
A やりました B もらいました C くれました D あげました
- 6 <sup>きむら</sup> 木村さんは あおい \_\_\_\_\_ を <sup>ひと</sup> している 人です。  
A くつ B スーツ C スカート D ネクタイ
- 7 \_\_\_\_\_ で <sup>かね</sup> お金を はらいました。  
A レジ B ノート C ガラス D ガソリン
- 8 きょうしつに ごみを \_\_\_\_\_ いけません。  
A すててから B すてては C すてたり D すてながら
- 9 この マンガは とても おもしろいですから、 \_\_\_\_\_ <sup>み</sup> 見てください。  
A けっして B ぜひ C ちっとも D もし

10 きょうは <sup>すい</sup>水<sup>び</sup>よう日ですから、 \_\_\_\_\_ は <sup>きん</sup>金<sup>び</sup>よう日です。

- A あさって      B あした      C おととい      D きのう

II \_\_\_\_\_ と <sup>いち</sup>一<sup>ばん</sup>かんけいがあるものを A~Dの <sup>なか</sup>中<sup>から</sup> <sup>ひと</sup>一つ <sup>えらび</sup>えらびなさい。

(例) <sup>れい</sup> けさ コーヒーを のみました。

- A きょうの あさ  
B きょうの ゆうがた  
C きのうの あさ  
D きのうの ゆうがた

1 おばは <sup>ほっかいどう</sup>ほっかいどうに <sup>すん</sup>すんでいます。

- A <sup>ちち</sup>父の<sup>あね</sup>あね      B <sup>ちち</sup>父の<sup>はは</sup>母      C <sup>はは</sup>母の<sup>ちち</sup>父      D <sup>はは</sup>母の<sup>おとうと</sup>おとうと

2 あめ 雨が <sup>ふり</sup>ふりそうです。

- A <sup>あめ</sup>雨が <sup>ふ</sup>ふっています      B <sup>あめ</sup>雨が <sup>ふ</sup>ふると <sup>い</sup>言っています  
C <sup>くも</sup>くもっています      D <sup>は</sup>はれています

3 あの <sup>がくせい</sup>学生は まじめです。

- A あまり <sup>とも</sup>友だちが <sup>い</sup>いません      B あまり <sup>スポーツ</sup>スポーツを <sup>し</sup>しません  
C よく <sup>あそ</sup>あそびます      D よく <sup>べんきょう</sup>べんきょうします

4 ひるごはんを た 食べる <sup>ところ</sup>ところです。

- A <sup>いま</sup>今 <sup>た</sup>食べています      B <sup>いま</sup>今から <sup>た</sup>食べます  
C <sup>しばらく</sup>しばらく <sup>た</sup>食べません      D <sup>もう</sup>もう <sup>た</sup>食べました

5 <sup>くるま</sup>車を ぴかぴかに <sup>し</sup>しました。

- A <sup>あらい</sup>あらいました      B <sup>うんてん</sup>うんてんしました  
C <sup>か</sup>かいました      D <sup>つく</sup>つくりました

6 この本は 子どもでも読めます。

- A おとなも読みません                      B 子どもしか読みません  
C おずかしいです                              D やさしいです

7 きょうは ねぼう しました。

- A おそく おきました                          B ぜんぜん ねませんでした  
C はやく おきました                          D はやく ねました

8 きょうは 電車が すいています。

- A 電車が あまり はしっていません  
B 電車が たくさん はしっています  
C 電車に あまり 人が のっていません  
D 電車に 人が たくさん のっています

9 きょうの パーティーに ダリアさんを しょうたいしました。

- A ダリアさんは パーティーに さしあげました  
B ダリアさんは パーティーに よばれました  
C ダリアさんは パーティーを つづけました  
D ダリアさんは パーティーを わすれました

10 山田さんが 来るまで、ここで まちましよう。

- A 山田さんが 来るから、行きましよう  
B 山田さんが 来ましたから、行くことができました  
C 山田さんが 来ていないから、行くことができません  
D 山田さんが 来なかったから、行かなければなりません

Ⅲ \_\_\_\_\_に <sup>はい</sup> 入る <sup>いち</sup> 一ばん てきとうな ものを A~Dの <sup>なか</sup> 中から <sup>ひと</sup> 一つ えらび  
なさい。

1 <sup>よしだ</sup> 吉田さん：「もしもし、そっちは どう？ あと <sup>ぶん</sup> 30分ぐらいで みんな <sup>き</sup> 来ちゃう  
よ。」

<sup>みしま</sup> 三島さん：「わかってるよ。 \_\_\_\_\_の <sup>じゅんび</sup> 準備は <sup>お</sup> 終わった？」

<sup>よしだ</sup> 吉田さん：「うん、ここは <sup>お</sup> もう 終わったよ。」

A こっち                      B そっち                      C あっち                      D どっち

2 <sup>やまだ</sup> 山田さん：「今日は <sup>きょう</sup> もう <sup>ま あ</sup> 間に合わないな。」

ネアさん：「\_\_\_\_\_、あしたでも いいですよ。」

<sup>やまだ</sup> 山田さん：「よかった。」

A でも                      B どうも                      C じゃあ                      D やっぱり

3 <sup>オルテア</sup>さん：「あのう、<sup>せんせい</sup> 先生。」

<sup>すずきせんせい</sup> 鈴木先生：「はい、<sup>なん</sup> 何ですか。」

<sup>オルテア</sup>さん：「作文を <sup>さくぶん</sup> 書いたんですが、<sup>か</sup> ちょっと <sup>み</sup> 見て\_\_\_\_\_。」

<sup>すずきせんせい</sup> 鈴木先生：「ええ、いいですよ。」

A あげませんか                      B いただけませんか  
C さしあげませんか                      D ほしいです

4 <sup>ぶちょう</sup> 部長：「遅くまで <sup>おそ</sup> がんばっているね。」

<sup>しゃいん</sup> 社員：「ええ、でも <sup>かえ</sup> もう 帰ります。\_\_\_\_\_。」

<sup>ぶちょう</sup> 部長：「ごくろうさま。」

A <sup>しつれい</sup> 失礼しますよ                      B <sup>しつれい</sup> それは失礼です  
C <sup>さき</sup> お先に失礼します                      D <sup>しつれい</sup> 失礼いたしました

- 5 ハサンさん：「田中さん、トルコのおかしを\_\_\_\_\_。」  
田中さん：「ありがとう。おいしそうですね。」

A どうぞ      B どうも      C どうか      D どうしますか

IV ①～⑧の 漢字の 読み方を ひらがなで 書きなさい。また、(1)～(7)の \_\_\_\_\_ の ひらがなを 漢字で 書きなさい。

この ① 牛乳 は ② 一本 180円です。

外国にいる ③ 兄 に ④ 手紙 を 書きました。

2時間以上も ⑤ 立った ままだったので、少し ⑥ 休み たいです。

今月の ⑦ 十日 水よう日の ⑧ 九時 に 会いましょう。

(1) にし と (2) ひがし に 山が 見えます。

この病院には (3) ゆう 名な (4) い 者が たくさん います。

漢字を たくさん (5) れん (6) しゅう して おぼえてください。

今日は (7) ど よう日 です。

V 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から一つ選びなさい。

- (1) 私たち動物は酸素(O<sub>2</sub>)を吸って、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を出します。酸素は空気中に約五分の一しかありません。これだけ多くの動物が息をしているのに、どうして酸素はなくならないのでしょうか。ひとつは、植物のおかげです。植物の緑は、二酸化炭素を吸って酸素を出します。動物に必要な酸素をたくさん作るためにも、森を大切にしなければなりません。

と  
問い1 ぶん ないよう あ  
文の内容に合っているものはどれですか。

- A 空気中の約20パーセントは酸素です。  
くうき ちゅう やく さんそ
- B 空気中の約五分の四は二酸化炭素です。  
くうき ちゅう やく ごぶん よん にさんかたんそ
- C 動物は息をするとき、二酸化炭素を吸って酸素を出します。  
どうぶつ いき にさんかたんそ す さんそ だ
- D 森が大切なのは、酸素を吸ってくれるからです。  
もり たいせつ さんそ す

(2) みな いろ ちから し じっけん ひとびと おな  
皆さんは、色にはすごい力があることを知っていますか。ある実験で、人々に同  
おんど あか へや あお へや はい へや あたた へや  
じ温度の赤い部屋と青い部屋に入ってもらい、どちらの部屋が暖かいか、部屋の  
おんど なんど おも しつもん じっさい おな おんど へや  
温度が何度ぐらいだと思つか、質問しました。すると、実際は同じ温度の部屋な  
のに、あか へや ほう あお へや ど あたた い ひと  
赤い部屋の方が青い部屋より3度も暖かいと言ったそうです。つまり、人  
あかいろ あたた あおいろ つめ も  
は赤色には暖かいイメージを、青色には冷たいイメージを持っているということ  
です。このよういろ ちから じょうず つか しごと せいかつ べんり  
な色の力を上手に使うと、わたしたちの仕事や生活は便利になり  
そうです。

と  
問い2 ぶん ないよう あ  
文の内容に合っているものはどれですか。

- A あか へや あお へや す ほう はい じっけん  
赤い部屋か青い部屋か好きな方に入ってもらう実験をしました。
- B じっさい あか へや ほう あお へや すこ きおん たか  
実際、赤い部屋の方が青い部屋より少し気温が高かったです。
- C ひとびと あお へや じっさい おんど あたた おも  
人々は青い部屋は実際の温度より暖かいと思いました。
- D じっけん あか いろ あたた  
実験で、赤い色には暖かいイメージがあることがわかりました。

(3) さいきん てん わ  
最近、コーヒーにはいろいろな点があることが分かってきました。コーヒー  
の ねむ の きんちょう の  
を飲むと眠くなりにくかったり、緊張しているときにコーヒーを飲むとリラック  
スできたりするということです。また、スポーツをするまえ がんばり しごと  
の いちばん こうか にち ばい はい  
ときに飲むのもいいそうです。一番コーヒーの効果があるのは、1日に3杯から5杯  
の いじょうの  
ぐらい飲んだときで、それ以上飲みすぎるのは、あまりよくないようです。

と  
問い3 ぶん ないよう あ  
文の内容に合っているものはどれですか。

- A ゆっくり眠りたいとき、コーヒーを飲むとよく眠ることができます。  
ねむ の ねむ
- B コーヒーは緊張しているときに飲むといいです。  
きんちょう の
- C スポーツをしながらコーヒーを飲むと、効果があります。  
の こうか
- D コーヒーは効果がありますから、飲めば飲むほどいいです。  
こうか の

(4) 昨日きのうホストファミリーの山下やましたさんの家へ遊びに行きました。山下さんの家でお昼ひるごはんをごちそうになる予定よていでした。12時じちょうどに訪問ほうもんすることになっていましたが、40分ぶん以上じゅうはや早く家いえに着ついてしまいました。今いま、料理りょうりの準備じゅんびなどで一番いちばん忙しいいそがいころだろうなあと思おもって、しばらく家いえの近くちかで待まつことにしました。そして、12時じ少し前すこ前に家いえを訪たずねると、山下さんのお母かあさんは「ちょうど今いま、料理りょうりができたところよ」と笑顔えがおで迎むかえてくれました。

と  
 問とい4 文ぶんの内容ないように合あっていないものはどれですか。

- A 山下さんのお母かあさんは私わたしのためにお昼ひるごはんを作つくってくれました。  
 B 11時じ20分ぶんには山下さんやましたの家いえに着ついていました。  
 C 12時じを少しすこ過ぎてから、山下さんやましたの家いえを訪たずねました。  
 D 私わたしは家いえを訪たずねるのが早はやすぎると、お母かあさんに悪わるいと思おもいました。

(5) ある言葉ことばづかいが正ただしいかどうかは、時代じだいによって変かわります。正ただしくない使つかい方かたでも、みんながそれをよく使つかうのであれば、正ただしい使つかい方かたになってしまうことがあります。例えば、たと「バスがこんでいる」というときの正ただしい漢字かんじは「込」です。しかし、数年前すうねんまへから正式せいしきに「混」と書かいてもよくなりました。あまりにも多おほくの人ひとが間違まちがって「混こんでいる」と書かいているからです。

と  
 問とい5 文ぶんの内容ないように合あっていないものはどれですか。

- A 今いまは、「バスが混こんでいる」の漢字かんじの使つかい方かたは正ただしいです。  
 B 昔むかしから「バスが混こんでいる」の「混こ」は正式せいしきな使つかい方かたでした。  
 C 「バスが込こんでいる」の「込こ」は、昔むかしも今いまも正ただしい使つかい方かたです。  
 D みんなが間違まちがった言葉ことばづかいをしていれば、それはいつか正ただしい言葉ことばづかいになるかもしれません。

# 問題

# B

Intermediate Level

I \_\_\_\_\_に入る最も適切なものをA~Dの中から一つ選びなさい。

1 長い話だったが、\_\_\_\_\_「もっと勉強しろ」ということだ。

- A 実に B まさか C 万一 D 要するに

2 この問題さえ\_\_\_\_\_、満点だったのに。

- A 解けたので B 解けつつ  
C 解けるとともに D 解ければ

3 近所の子どもたちが校庭で\_\_\_\_\_遊んでいる。

- A 楽しがちに B 楽し気味に C 楽しげに D 楽しっぽく

4 彼のメールは意味不明だ。これでは、返事の\_\_\_\_\_ようがない。

- A 書か B 書き C 書く D 書け

5 広い部屋に引っ越したの\_\_\_\_\_、新しい本をたくさん買うようになった。

- A がきっかけに B ときっかけで  
C をきっかけに D にきっかけで

6 大雨で、川から水が\_\_\_\_\_出した。

- A あふれ B 上げ C 走り D 注ぎ

7 おかしに戻れる\_\_\_\_\_、あのときの失敗をやり直したい。

- A ものか B ものだから C ものなら D ものの

8 余分な物を買すぎて、予算が\_\_\_\_\_してしまった。

- A オーバー B ゴール C セット D ミス

9 私は友人の行方を必死にさがした。\_\_\_\_\_、友人がどこにいるか見つけることができなかった。

- A それなのに B それなら C それから D それで

- 10 <sup>かわた</sup>川田さんは、<sup>しごと</sup>仕事<sup>ようす</sup>がうまくいなくて、\_\_\_\_\_している様子だった。  
A いろいろ B たびたび C はきはき D ぶつぶつ

II \_\_\_\_\_と<sup>おな</sup>ほぼ<sup>ないよう</sup>同じ内容のもの、または、\_\_\_\_\_と<sup>もっと</sup>最も<sup>かんけい</sup>関係のあるものをA~Dの中  
から一つ<sup>ひと</sup>選<sup>えら</sup>びなさい。

- 1 あの<sup>ひと</sup>人は、そのうち<sup>せいこう</sup>成功するだろう。  
A しきりに B はたして C まれに D やがて
- 2 ご<sup>かぞく</sup>家族の<sup>みなさま</sup>皆様も<sup>か</sup>お<sup>す</sup>変わりなく<sup>ぞん</sup>お<sup>ぞん</sup>過ごしのことと<sup>ぞん</sup>存じます。  
A <sup>おも</sup>思います B <sup>ねが</sup>お願いします C <sup>いわ</sup>祝っています D <sup>し</sup>知っています
- 3 この<sup>じしょ</sup>辞書は、<sup>わたし</sup>私の<sup>べんきょう</sup>勉強<sup>そんざい</sup>にとってたのもしい存在でした。  
A <sup>だ</sup>出しがたい B <sup>たの</sup>楽しめる C <sup>たよ</sup>頼りになる D <sup>だ</sup>だらしない
- 4 <sup>むすめ</sup>娘の<sup>く</sup>暮らし<sup>み</sup>ぶりを見て、<sup>ははおや</sup>母親は<sup>ふ</sup>不安<sup>ふ</sup>になったようだ。  
A <sup>い</sup>いっしょに住<sup>す</sup>む人 B <sup>せいかつ</sup>生活の<sup>ようす</sup>様子  
C <sup>じゅうしょ</sup>うその住<sup>す</sup>所 D <sup>ひ</sup>引<sup>こ</sup>越<sup>りょうきん</sup>しの料<sup>きん</sup>金
- 5 <sup>とも</sup>友<sup>えきまえ</sup>だちと<sup>じ</sup>駅<sup>ま</sup>前で<sup>あ</sup>3時<sup>あ</sup>に待ち合わせた。  
A <sup>あ</sup>会<sup>やくそく</sup>う約<sup>せ</sup>束をした B <sup>あ</sup>あ<sup>で</sup>わてで<sup>で</sup>出<sup>で</sup>かけた  
C <sup>く</sup>来<sup>ま</sup>るまで<sup>ま</sup>待<sup>ま</sup>った D <sup>じかん</sup>時<sup>き</sup>間<sup>き</sup>び<sup>き</sup>たり<sup>き</sup>りに<sup>き</sup>来<sup>き</sup>た
- 6 <sup>ゆめ</sup>夢<sup>じつげん</sup>が<sup>どりょく</sup>実<sup>けつ</sup>現<sup>か</sup>したのは、努力の結果<sup>けつ</sup>に<sup>か</sup>ほ<sup>か</sup>なら<sup>な</sup>ら<sup>な</sup>い。  
A <sup>けつぎよく</sup>結<sup>どりょく</sup>局<sup>もと</sup>、<sup>もと</sup>努<sup>もと</sup>力<sup>もと</sup>のみ<sup>もと</sup>を<sup>もと</sup>求<sup>もと</sup>めた<sup>もと</sup>のだ B <sup>そうどう</sup>相<sup>どりょく</sup>当<sup>どりょく</sup>、<sup>どりょく</sup>努<sup>どりょく</sup>力<sup>どりょく</sup>した<sup>どりょく</sup>か<sup>どりょく</sup>も<sup>どりょく</sup>し<sup>どりょく</sup>れ<sup>どりょく</sup>ない  
C <sup>どりょく</sup>つ<sup>どりょく</sup>ね<sup>どりょく</sup>に<sup>どりょく</sup>努<sup>どりょく</sup>力<sup>どりょく</sup>する<sup>どりょく</sup>し<sup>どりょく</sup>か<sup>どりょく</sup>な<sup>どりょく</sup>か<sup>どりょく</sup>つ<sup>どりょく</sup>た D <sup>まさ</sup>ま<sup>どりょく</sup>さに<sup>どりょく</sup>努<sup>どりょく</sup>力<sup>どりょく</sup>した<sup>どりょく</sup>か<sup>どりょく</sup>ら<sup>どりょく</sup>だ
- 7 聞いた<sup>き</sup>限<sup>かぎ</sup>りでは、<sup>はなし</sup>その<sup>ほんとう</sup>話<sup>ほんとう</sup>は<sup>ほんとう</sup>本<sup>ほんとう</sup>当<sup>ほんとう</sup>の<sup>ほんとう</sup>よ<sup>ほんとう</sup>う<sup>ほんとう</sup>だ。  
A <sup>き</sup>聞<sup>き</sup>いた<sup>き</sup>だ<sup>き</sup>け<sup>き</sup>か<sup>き</sup>も<sup>き</sup>し<sup>き</sup>れ<sup>き</sup>ない<sup>き</sup>が B <sup>き</sup>だ<sup>き</sup>れ<sup>き</sup>も<sup>き</sup>聞<sup>き</sup>いて<sup>き</sup>い<sup>き</sup>ない<sup>き</sup>の<sup>き</sup>で  
C <sup>わたし</sup>私<sup>き</sup>が<sup>き</sup>聞<sup>き</sup>いた<sup>き</sup>と<sup>き</sup>こ<sup>き</sup>ろ<sup>き</sup>よ<sup>き</sup>る<sup>き</sup>よ<sup>き</sup>と D <sup>わたし</sup>私<sup>き</sup>だ<sup>き</sup>け<sup>き</sup>が<sup>き</sup>聞<sup>き</sup>いた<sup>き</sup>こ<sup>き</sup>と<sup>き</sup>し<sup>き</sup>て

- 8 二度と同じ失敗はくり返すまいと心に誓った。
- A くり返さざるをえない      B くり返さないようにしよう  
 C くり返すのではないかと      D くり返さないだろう
- 9 お腹がへっていたので、ご飯をお代わりした。
- A いつもと違うお米を食べた      B お米以外の物をたくさん食べた  
 C ご飯だけ食べなかった      D ご飯を2杯食べた
- 10 「買った服に穴があいていた」と、クレームの電話があった。
- A 直接、電話でわびた      B 次々と電話のベルが鳴った  
 C 電話で苦情を言われた      D 不幸な電話だった

Ⅲ \_\_\_\_\_ に入る最も適切なものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- 1 田中さん：「キムさんの誕生日プレゼント、何がいいかなあ。」  
 森本さん：「そうだなあ。きれいな風呂敷\_\_\_\_\_」  
 田中さん：「そうだね。じゃ、これから見に行こうか。」

- A がいいじゃない。      B なんかどう？  
 C が好きだね。      D がいい？

- 2 姉：「ねえ、このバッグ、明日貸してね。」  
 妹：「明日はデートだからだめだよ。」  
 姉：「でも、この間約束したでしょ。」  
 妹：「\_\_\_\_\_ 予定が変わったんだもん。」

- A だって      B だから      C じゃあ      D なぜなら

3 おがわきょうじゅ せんしゅう きみ おきなわ ちょうさ じつ わたし  
小川教授：「先週、君は沖縄で調査をしていたらしいじゃないか。実は私もそのと  
き沖縄にいてね。」

がくせい ぐうぜん  
学生：「えっ、\_\_\_\_\_。偶然ですね。」

おがわきょうじゅ ちが  
小川教授：「もしかしたら、どこかですれ違っていたかもしれないね。」

- A きみ 君もですか                      B あなたもですか  
C せんせい 先生もですか              D おがわ 小川さんもですか

4 たつおくん すうがく きょうかしょ か いえ わす  
タツオくん：「数学の教科書、貸してくれない？ 家に忘れてきちゃって。」

ヨウコさん：「いいですよ。」

タツオくん：「\_\_\_\_\_。これで先生に怒られずにすむ。」

- A いいです                      B けっこうです                      C そうですね                      D よかった

5 ユウコさん せんせい ねが  
ユウコさん：「先生、ちょっとお願いがあるんですが…。」

やまだせんせい  
山田先生：「はい。」

ユウコさん じつ こわ せんせい  
ユウコさん：「実は、うちのプリンタが壊れてしまって、プリントできないので、先生の  
プリンタを\_\_\_\_\_とありがたいんですが…。」

やまだせんせい  
山田先生：「いいですよ。」

- A つか 使ってください                      B つか 使っていただけ  
C つか 使わせていただけ                      D つか 使わせることができる

IV ①～⑧の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。また、(1)～(7)の\_\_\_\_\_の  
ひらがなを漢字で書きなさい。

先生は今日だけ ① 特別 に 寝ぼうを ② 許して くれた。

船よりも ③ 飛行機 で ④ 運んだ ほうが早い。

⑤ 帽子 を ⑥ 鼻 のあたりまで ⑦ 深く かぶった。

ねこがびっくりして ⑧ 逃げて しまった。

(1) あつ い夏も終わり、いつのまにか (2) あき がやって来た。

お茶とお菓子を (3) め 仕上がってください。

ドアを何度も (4) お したり引いたりしてみたが、まったく開かなかった。

海外に住んでいる友人に (5) えい 語で手紙を書いて (6) おく った。

今年の冬は寒いから、(7) ゆき がたくさん降るだろう。

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切なものを一つ選びなさい。

コミュニケーションには論理的なものろんりてきと感情的なものかんじょうてきがある。(1) どちらにせよ、声  
はなるべく小さなほうがいい。小さく低い声ひくでゆっくりと話していくほうが、説得力せつとくりよく  
と持続性じぞくせいとがあると思う。昔むかしから、ことわざことわざに「空っぽの茶碗ちやわんほどよく鳴る」という。中身なかみ  
がよく詰まつっていると、あんまり鳴らない。というわけで地声じごえ\*<sup>1</sup>の大きい人はしかた  
ないが、低い声でゆっくりしゃべる、そういうことばのほうが説得力もあるし、感情的  
にも訴えうったるところが強い。

大阪おおさかを舞台ぶたいにした連続れんぞくテレビドラマで、気きになったことがある。大阪娘おおさかむすめのしゃべり方  
があまりにも早いことだ。うちの老人ろうじんは大阪出身しゅっしんなのに、さっぱり分わからないとこぼ  
していた。私も分わかりかねるふしがある。ドラマだけのことかと思おもったら、現実げんじつがどう  
もそうらしい。

(2) 一般いっぱんに、大都会だいていの、それも若い女わかの子こほど早口はやくちになる傾向けいこうがある。パリでそう  
だし、モスクワでそうだし、大阪おおさかでそうである。これはどういうことなのか。よく分わ  
からない。

よく分わかからないが、たぶん仲間なかまうちの会話かいわを楽したのむだけで十分じゅうぶんなのだろう。彼女らかのじょ  
のテンポれんちゆうについてゆけない連中たいどはどうでもよい。そういう態度かんが感じられる。

仲間なかまうちの隠語いんごふう略語りやくご\*<sup>2</sup>もそうだろう。高校生こうこうせいがゲンコク、ゲンコクといってい  
るから何なにのことかと思おもったら「現国げんこく」すなわち現代国語げんだいこくごという教科きょうかのことであった。

だいがくせい わ どうろん こんや  
大学生はクラトウという。お分かりかな。クラス討論の隠語ふう略語であった。「今夜はクラトウでおそくなる」などといっている。

ひとまえ だれ き て ちょうしゅう わ  
人前でしゃべるといことは、誰が聞き手、聴衆のなかにいるか分からないということである。速いテンポよりもおそいテンポのほうが、(3) \_\_\_\_\_。

まあ、声の質は生まれつきもある。高い声、低い声はどうしようもない面がある。しかしなるべく声は抑えたい。あまりにキンキンすると、説得の姿勢がおきだしになっておもしろくない。おもしろくないと感じるのは、万事抑制を好ましく思う日本人の心持ちである。

ひけつ はじ おおごえ だ ひく こえ  
スピーチの秘訣の一つは、初めあんまり大声を出さないことだそうだ。そうとう低い声で切り出して、聴衆の後ろのほうの人が「よく聞こえないな、どういことをしゃべってんだろう」と、耳をそばだたせてきたころに、はっきりわかる声で、さっと興味ある話を持ちだすのが、しゃべるコツだという。ある講演のうまい人に聞いた話である。

ざつおん せんべつ のうりよく も きよひ  
雑音というものにたいして選別能力を持って、ある雑音にたいしては(4) 拒否する力を持ってゆきたいと思う。拒否する力というのは、下のピアノがやかましいからひとつぶん殴ってやろうとか、そういうことではない。耳の感覚の快不快に忠実になることである。ことばも、もともとは音である。声という音である。その音に敏感でありたい。おかしから、眞実は低い声で語られるという。もう少し低い声の良さに慣れていくようになれば、話し方もずいぶん変わってくるだろう。

- \* 1 じごえ う も こえ しぜん はっせい  
地声：生まれつき持っている声、または自然に発声したときの声
- \* 2 いんご りやくご たんしゆく けっか なかま かぎ ひと りかい  
隠語ふう略語：短縮した結果、仲間うちなど、ある限られた人たちにしか理解できなくなった言葉

(多田道太郎『日本語の作法』より、一部表記を改めた)

ひっしゃ かせんぶ こえ かんが  
問い1 筆者が、下線部(1) どちらにせよ、声はなるべく小さなほうがいい と考えるのはなぜですか。

- A ちょうしゅう き  
聴衆に聞こえにくいから。
- B こうかてき つた  
効果的に伝えることができるから。
- C いがい とお とど  
声は小さくても意外と遠くまで届くものだから。
- D めいわく  
聞きたくない人に迷惑をかけなくてすむから。

問い2 下線部(2) 一般に、大都会の、それも若い女の子ほど早口になる傾向がある  
理由として、筆者の考えに最も近いのはどれですか。

- A 若い女の子たちは、言葉に対する興味を持っていないから。
- B 若い女の子たちは、仲間以外の人とコミュニケーションをしたくないから。
- C 若い女の子たちには、他人と話す時間がほとんどないから。
- D 若い女の子たちには、人前で話す機会や、話した経験がほとんどないから。

問い3 下線部(3)には、どのような文章が入りますか。

- A 聞き取りにくいことはいうまでもない
- B 分かりにくいことはいうまでもない
- C 親切なことはいうまでもない
- D 低いことはいうまでもない

問い4 下線部(4)の拒否する力として筆者が考えているものと違うものはどれ  
ですか。

- A 声という音に敏感になること。
- B 自分の耳の感覚を大切にすること。
- C 心地いい音か、そうでない音かを選別すること。
- D なるべくすべての雑音を聞かないようにすること。

問い5 この文章の内容と合っているものはどれですか。

- A 声の大きさや、テンポなどに敏感になれば、話し方も変わるだろう。
- B 早口で話すのは、ドラマに出てくる人たちだけである。
- C スピーチでは初めから大きな声で話すほうがいいだろう。
- D 感情に訴える話をするには、論理は必要ない。

# 問題

# C

Advanced Level

I \_\_\_\_\_に入る最も適当なものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- 1 うちの兄は、いつも落ちているお金を\_\_\_\_\_を見つける。  
A あくどく      B あざとく      C めざとく      D めでたく
- 2 この膨大な資料から結論を導き出せるのは、佐藤教授\_\_\_\_\_ものだ。  
A ぐらいな      B だけな      C ながらの      D までの
- 3 部外者には余計な口を\_\_\_\_\_でほしいんですが。  
A つぐまない      B 挟まない      C 切らない      D 揃えない
- 4 友だちとけんかをしてしまったことが今でも\_\_\_\_\_。  
A 悔やませる      B 悔やまれる      C 悔やむ      D 悔やんでいる
- 5 言いにくいことだが、君のためを思って\_\_\_\_\_忠告しよう。  
A あえて      B かねて      C つとめて      D まして
- 6 10年ぶりに訪れた故郷の変わり\_\_\_\_\_に驚いてしまった。  
A さま      B なし      C ほう      D よう
- 7 合格したら合格した\_\_\_\_\_、また勉強が大変だ。  
A って      B で      C に      D にて
- 8 先週、私の家にドイツからお客さんが\_\_\_\_\_。  
A 訪ねた      B 訪ねていた      C 訪ねてきた      D 訪ねていった
- 9 住民の不安を\_\_\_\_\_、工場は今日も稼働している。  
A そとに      B べつに      C ほかに      D よそに
- 10 新発売！ 薄さと軽い食感にこだわりました。\_\_\_\_\_美味しいココナッツクッキーです。  
A サクサク      B ネバネバ      C ホクホク      D ボソボソ

II \_\_\_\_\_ とほぼ同じ内容のもの、または、\_\_\_\_\_ と最も関係のあるものをA~Dの中から一つ選びなさい。

- 1 冷房がない時代は、夏はきつと過ごしにくかったでしょうね。  
A さして                      B さぞ                      C さほど                      D さも
- 2 外国人に話しかけられてもあたふたしない性格になりたい。  
A あやふや                      B うかうか                      C どぎまぎ                      D ひしひし
- 3 オーダースーツ、格安にて承ります。  
A 値段を安くします                      B 安く作ります  
C 安くて上手です                      D 安くゆずります
- 4 この試験は、難しいどころの騒ぎではない。  
A あまり難しくない                      B あまりやさしくない  
C とても難しい                      D とてもやさしい
- 5 味もさることながら、器と料理のバランスも絶妙だ。  
A 味はなんとも言えないが                      B 味はひどいものだが  
C 味はもう忘れたが                      D 味はもちろんいいが
- 6 日本語の勉強のかたわら、趣味で茶道の教室に通っています。  
A 勉強をするかわりに                      B 勉強をそっちのけで  
C 勉強を終えたので                      D 勉強をしながら
- 7 合格、不合格のいかにかかわらず、電話での問い合わせは受け付けない。  
A どちらにしても                      B どちらも質問せず  
C どちらかといえは                      D どちらもいけないし
- 8 昨日のドキュメンタリー番組は、見るにたえない内容であった。  
A 見ごたえのある                      B 見たほうがいい  
C 見てもらえない                      D 見ないわけにはいかない

- 9 紳士たるもの、服装にはいつも気を遣わねばならぬ。
- A 紳士が持つものは                      B 紳士だったものは  
C 紳士であるものは                      D 紳士になるためには
- 10 彼女が学位を二つ持っても、驚くにはあたらぬ。
- A 驚く気持ちを隠せない                      B 驚くことではない  
C 驚くのを乗り越えている                      D 驚くばかりだ

Ⅲ \_\_\_\_\_に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

- 1 タロウさん：「明日のパーティー、来られるよね？」  
ヒロシさん：「\_\_\_\_\_、急に仕事が入って、行けなくなっちゃったんだ。ごめん。」  
タロウさん：「そうか。しょうがないね。」
- A これが                      B それが                      C あれが                      D どうか
- 2 山田さん：「おひさしぶりです。田中さんは今何をしてらっしゃるんですか。」  
田中さん：「今は、サワイ電気で営業部長をやっています。」  
山田さん：「え、\_\_\_\_\_。」  
田中さん：「サワイ電気です。LED電球を作っている会社。」  
山田さん：「ああ、あの会社ね。知ってます、知ってます。」
- A どここの営業部長ですか  
B それは本当ですか  
C どこで何を作っていますか  
D サワイ電気はどんな会社ですか

3 マイクさん：「もしもし。私、山内商事の者ですが、山口部長いらっしゃいますでしょうか。」

社員： 「山口は、ただいま席を外しております。\_\_\_\_\_。」

マイクさん：「わざわざありがとうございます。それではお待ちしております。」

- A 時間をおいて、もう一度お電話いただけませんか
- B 机にメモを残しておきますので、ご確認できますか
- C 私が代わりに、ご用件に対応させていただきます
- D 戻り次第、本人から改めてご連絡差し上げます

4 議長： 「我が社のこれからの方針について皆さんのご意見をお聞かせください。まずは山田さん、どうですか。」

山田さん：「私たちにできることは、コストを減らすか、ヒット商品を開発するかのどちらかしかないと思います。」

加藤さん：「\_\_\_\_\_コストを減らすのがいちばん手っ取り早いと思うんですけど、ヒットする商品を開発するのも、戦略的にはありかなど。」

- A おっしゃることはごもっともですが、
- B そうは言えないのではないのでしょうか。
- C 山田さんのおっしゃるとおりだと思います。
- D 現時点でそうははっきりと言えるのでしょうか。

5 石川さん：「こんにちは、石川です。純子さんいらっしゃいますか。」

森さん： 「純子は買い物に行っていて、留守なんです。」

石川さん：「そうですか。ではまたうかがいます。」

森さん： 「もう帰ってくる時間ですので、入ってお待ちしておりますか。」

石川さん：「ありがとうございます。では、\_\_\_\_\_。」

- A お言葉に甘えて、そうさせていただきます
- B お言葉にしたがって、そうしてもよさそうです
- C お言葉を返すようですが、そうはいたしかねます
- D お言葉はありがたいのですが、そうもいきません

Ⅳ ①～⑧の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。また、(1)～(7)の \_\_\_\_\_ のひらがなを漢字で書きなさい。

文章の ① 誤り を訂正して、② 直ちに 書類を手渡した。

今朝は昨日よりも ③ 若干 ④ 湿度 が高いようである。

日が ⑤ 照り つける中で、長時間の労働を ⑥ 強いられ た。

⑦ 台風 で船が流されないよう、紐できつく ⑧ 縛って おいた。

留學生活の思い出は、私にとってかけがえのない (1) たから 物である。

拾った小石を (2) みが き続けると、美しく (3) かがや き始めた。

この辺りは少し (4) ほ るだけで、縄文時代の (5) い 跡がすぐに出てくる。

環境破壊が進めば、人類は (6) めつ (7) ぼう するかもしれない。

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切なものを一つ選びなさい。

おおよそその話ですが、近代になって、<sup>げいじゅつ</sup>藝術の所産は「作品」になるとともに「商品」となりました。作品とは、単なる製品とは異なり、独特の精神的な内部をもち、その内部のゆえに、作者との独特の<sup>きずな</sup>絆をもち、ある程度まで人格と似たようなあり方をしていいる個性的な作物のこトです。商品となるのは製品ですから、作品と商品は矛盾した関係にあります。そこで、近代美学においては、作品の側面が強調され、それが同時に商品でもある、ということについて人びとは、言わば(1) 見て見ぬふりをしてきた、というふしがあります。(中略)

大名が江戸や京から<sup>ふすま え</sup>絵師を呼び寄せて、襖絵を画かせるとか、中世やルネサンスの時期に王侯や<sup>おうこう</sup>司教が画家にフレスコ画を画かせる、という場合、藝術家は報酬を受けるのであって、作品が商品になるわけではありません。フレスコ画の画かれた壁面は、原

則として取り外すことはできませんし、襖もまた、どの建物のどの部屋にでもはまるものではありません。(2) 商品になるためには、どこに持っていても、誰の求めにも応えられるものである、ということが必要です。絵画が壁画からタブローに、つまり壁に掛けるかたちの板絵やキャンヴァス地の絵画になることが、条件になります。一度に多数の同じ図柄の作品を制作できる版画の場合には、商品としての性格は明らかです。

(中略) 版画は美術における最初のマスメディアと見ることでできるもので、油絵として画かれた名画の図柄は銅版画によって広く知られるようになりました。それと同時に、制作者の側には(多くは版元、しかし藝術家自身であることもあります)、購買者がどのような版画を求めているかという意識が、言い換えると何が売れるのかという関心が芽生えてくることになります。

音楽の場合、商品化の歴史を垣間見るには、モーツァルトの伝記を思い出すのが好都合です。二世代ほど先輩のハイドンが長らくエステルハージ侯爵<sup>こうしゃく</sup>のおかかえ楽師であったことはよく知られています。モーツァルトの父が息子アマデウスのために、そのような勤め口を望み、そのためにも各地に演奏旅行を試みたことが、伝記のなかに記されています。定職がない場合にどうしたかと言えば、自作を組み合わせたプログラムを組んで自ら演奏会を催し、入場料を取って収入を得ていました。王侯が音楽家を雇うのが古い(フレスコ画に相当する)あり方であったとすれば、演奏会は(3) 商業原理による新しいあり方です。モーツァルトが生きていたのは十八世紀後半のことで、それ以降、音楽においても、演奏会というかたちでの「商品化」は進行してきました。

版画は複数化という意味での複製でした。音楽においてこれと同様の複製は、録音技術の発明を俟<sup>ま</sup>って初めて実現されました。カラヤンのようなスター指揮者が、録音によって巨万の富を築いたことは、音楽史上かつてなかったことです。デジタル技術は、消費をも簡便なものとし、CDシングルの売上枚数を飛躍的に高めました。半年後には多くのひとが忘れていたような《ヒット・チューン》が、いとも容易に100万枚のセールスを達成しているほどです。ところが、このデジタル技術は、(4) 商品としては一種の自殺的な効果を生み出しています。デジタル技術の長所の一つは、コピーに強いことです。わたくしはCDの音が嫌いですが、コピーしたときに音の劣化の少ないことは認めます。このページを読んでいる方のなかにも、レンタルでCDを借りてきて(あるいはインターネットからダウンロードして)、パソコンでコピーし、それで音楽を聴いている、というひとが少なくないことでしょう。これが商品としてのCDにとって打撃にならないはずはありません。一方においてCDの売上枚数を飛躍的に高めたデジタル技術が、他方で商品に対する脅威になる、という皮肉な現象が生まれているわけです。

商品の側面にこれ以上立ち入るつもりはありませんが、コピーとしての藝術が、その

観賞形態に変化をもたらすことは明らかです。切符を手配し、スケジュールをやりくりし、それなりの身支度をし、電車を乗り継いでコンサート会場に行き、多くの聴衆とともに、一回かぎりの演奏に集中することと、寝ころがり、新聞を読みながら、ヘッドフォンでCDを聴くのは、非常に異質な経験です。前者が本当の藝術観賞の仕方であって、後者はまがいもの、あるいは間に合わせの観賞形態なのでしょうか。そうだとすると、たくさん音楽を聴いたことがあるにもかかわらず、《本当の》音楽は知らない、というひとが非常にたくさんいる、という奇妙なことになるでしょう。かくして、科学技術の生み出したコピーという新タイプの存在は、商品の経済学のみならず、何が「正しい」観賞法かという美学の問題をも引き起こすことになります。

(佐々木健一『美学への招待』より、一部表記を改めた)

問い1 下線部(1) 見て見ぬふりをしてきた とは、何を見て見ぬふりをしてきたのですか。

- A 作品と商品がともに近代美学の対象ではないこと。
- B 作品と商品がともに似たような形をしていること。
- C 作品が商品の存在をおびやかしていること。
- D 作品が商品としての性格を帯びること。

問い2 下線部(2) 商品になる の条件として当てはまらないものはどれですか。

- A 一度に同じ図柄のものをたくさん作ることができる。
- B 相手を選ばず、買い手の希望にこたえられる。
- C ある特定の場所のために作られている。
- D 取り外して持ち運ぶことができる。

問い3 下線部(3) 商業原理による新しいあり方 の内容と合致しないものはどれですか。

- A 音楽を品物のように人に売ること。
- B 収入を得る機会を自分の手で作り出すこと。
- C 決まった相手に演奏を聴かせること。
- D 自分の好きなようにプログラムを組んで演奏すること。

問い4 下線部(4) 商品としては一種の自殺的な効果を生み出しています の内容として適切なものはどれですか。

- A デジタル技術は消費を簡単なものにしたので、CDを買う人が増えた。
- B デジタル技術はコピーに強いので、CDを買わない人が増えた。
- C デジタル技術はコピーに強いが、CDの音が嫌いな人もいる。
- D デジタル技術は消費を簡単なものにしたので、音楽は聴かれなくなった。

問い5 筆者の考えに合致するものはどれですか。

- A コピーはまがいものの藝術観賞を生み出す原因を作り出した。
- B コピーの登場によって、本物の藝術を知らない人が増えた。
- C 本当の藝術観賞のしかたについて、経済学も美学も答えを見つけられない。
- D コピーは藝術を商品化するだけでなく、観賞のしかたにも変化をもたらした。